

## 施設利用の留意点（感染症流行時）

以下、当施設を利用するにあたっての留意点を各項目別に示す。なお、ここに示すものはあくまでも留意点であり、強制・強要するものではない。困った点などについては、事前打合せ等で相談しながら、安全でよりよい利用となるよう努めていきたいと考える。また、この留意点は感染症流行時に当施設が必要に応じて実施するものであり、感染症の流行が減退したと判断される場合には、通常の利用に戻すこととするため、あらかじめご了承ください。

### 【前日までの留意点】

- 利用するすべての者は、施設利用日の2週間ほど前から毎日検温を実施し、感染症の有無をチェックする。また、利用者の家族の状況についても確認し、家族の中に感染者がいないかどうかをチェックしておくことが望ましい。
  - ※以上のことは、利用当日、「施設利用時チェックシート」により所員が聞き取り調査をする。
- 「手洗い・うがい」「咳エチケット」等の感染予防対策について事前指導し、利用当日も実践できるようにあらかじめ準備・指導をしておく。

### 【日課表作成の留意点】

- 他団体との同日利用がある場合、後から入る団体は最初にキャンプセンター等を利用し、前の団体が帰った後（館内の清掃・消毒終了後）に館内を利用するような日課を組む。（午後入りでもよい）
  - ・荷物は、到着時に研修室1・2などに置くことは可能である。（バスで到着したら荷物だけ置いて、バスでキャンプセンターに移動してもよい。）
  - ・午後の入れ替わりがどうしてもうまくいかない場合、屋外（キャンプセンターやつどいの広場）で活動プログラムの説明をした後に野外活動を実施することも可能である。
  - ・雨天時の活動（特に1日目午前中）は、キャンプセンターでできるものを設定する。（野外炊事やほとんどの創作活動はキャンプセンターで実施可能である。）
- 屋内活動プログラム（創作プログラムは除く）はなるべく避けるようにする。
  - ※密集状態となるため、雨天時でも避けるようにし、創作プログラムなどを設定する。

### 【当日の留意点】

- 玄関（1階）
  - ・「施設利用時チェックシート」により、前日までの様子を確認する。（所員が聞き取りをする。）
  - ・検温を受ける。（引率者も含め全員が行う）
    - （1）1次検温：所員が非接触式（おでこなどで測定）の体温計で計測する。
    - （2）2次検温：1次検温で発熱（37.5℃以上）が確認された者は、再度違う体温計で計測する。
    - ※2次検温でも発熱（37.5℃以上）が確認された場合は、引率者と相談の上、帰宅させるなどの措置をとる。
  - ・手のアルコール消毒をする。（備え付けのものを使用）

●食堂（1階）

- ・一度に入室できる人数は80名までとする。（定員160名）
- ・入口で手のアルコール消毒をする。（備え付けのものを使用）
- ・密集しない座席配置とする。

●研修室（1階：3室）

- ・各研修室の定員は次の通りとする。
  - （1）大研修室（体育館）：80名（定員160名）
  - （2）研修室1：30名（定員60名）
  - （3）研修室2：30名（定員60名）
- ※つどいなどで集まる際、密集を避けるような並び方をする。（立ち位置シールを利用する。）
- ※換気はこまめに行う。（30分に1回程度は窓を開けて換気をする。）

●トイレ（1・2階）

- ・指定されたトイレのみを使用する。（使用後の清掃・消毒を集中して行えるようにするため）
- ※単独利用又は小規模団体の場合、基本的に2階トイレのみを使用する。

●浴室（1階：松・梅）

- ・指定された浴室のみを使用する。（30名以下の団体は梅のみとする）
- ・一度に入浴できる人数は5～10名程度とする。
- ・シャワーは5基であるが、密集を避けるため1つ空けて利用するなど工夫する。

●宿泊室（2階：13部屋）

- ・宿泊室の定員は次の通りとする。
  - （1）指導者室：2～3名（定員5名）
  - （2）12人部屋：6名（いちょう・すいせん以外の部屋）
  - （3）14人部屋：7名（いちょう・すいせん）
- ・指定された宿泊室（宿泊棟）のみを使用する。（40名以下の団体は宿泊棟西のみとする）
- ・他団体との同日利用がある場合、宿泊棟を西と東に分けて使用する。
- ・換気をこまめに行う。（夜の見回り時、布団の準備・片付け、清掃時など）

●洗面所（2階：2カ所）

- ・指定された洗面所のみを使用する。（使用後の清掃・消毒を集中して行えるようにするため）
- ・他団体との同日利用がある場合、洗面所を西と東に分けて使用する。

●その他

- ・2日目以降の検温・健康観察等は、利用団体が必要に応じて実施する。（発熱があった場合は速やかに報告する。）
- ・退出時の清掃や消毒作業について協力をお願いする場合がある。

**【大規模（利用人数80名以上）団体の引率者は必ずお読みください】**

当日の留意点にも記していますが、感染症流行時における当施設の利用人数は、定員の50%となる80名程度にしたいと考えます。よって、80名を超える団体については、分散・分割しての利用、即日利用などを考えていただきたいと思います。

（例1）宿泊室の密集をさけるため利用を2泊3日とし、1泊目は1・2組、2泊目は3・4組が時間差をつけて利用する。

（例2）利用を即日とし、野外活動を中心に行う。（雨天時は中止とする。）